

●毒性・健康影響(2) (1-I-15-2～1-I-15-3)

本セッションでは、PAHs に対する光触媒による分解に関する発表が 1 件、下水流入水の各処理に対する生態毒性試験に関する発表が 1 件行われた。

「TiO<sub>2</sub> を塗布した高速道路模擬防音壁上での微量有害物質の光分解」では、道路交通由来の多環芳香族炭化水素類(PAHs)に対して光触媒による暴露実験および 2 種類のバイオアッセイを用いた毒性評価の結果について、PAHs は二酸化チタンによる光分解を受けることや実環境全体の毒性に対する環境中 PAHs の毒性割合が示された。なお、講演ではガラス面積を増やした実験ケースの結果も含めて報告された。2 種類の毒性試験を行った意味や供試体の素材などについて質疑応答があった。

「下水流入水の生物処理や化学処理における三種生態毒性の変化」では、微量有害物質を含む下水処理場の流入水に注目し、生物処理や塩素処理による生態毒性の消長について、活性汚泥処理における初期段階での吸着、その後の生物分解や塩素処理によって毒性が減少すること、生物によって毒性試験の反応が異なることなどが報告された。濃縮を行わないとどういう挙動を示すのか、微量有害物質の中身や濃度などに関する質疑応答があった。

(東北大学大学院・工 野村 宗弘)